

Q19

消毒薬の継ぎ足しは問題ありませんか？

A

消毒薬のなかでも低水準に属する塩化ベンザルコニウムなどの第四級アンモニウム塩やグルコン酸クロルヘキシジンでは、微生物による汚染を受けやすいことが知られています。これらの消毒薬を用いて調製した綿球などでは、殺菌成分が綿球に吸着されて消毒薬濃度が低下し、混入した微生物が増殖して消毒薬の継ぎ足しを繰り返すごとに消毒薬に抵抗性を有する微生物が出現してきます。特に、緑膿菌やセラチア菌が原因微生物であると指摘されています^{1,2)}。したがって、消毒薬の継ぎ足しは中止すべきで、できる限り短時間で使用が終わる量の綿球を調製することです。調製した消毒薬綿球の使用期限は7日以内と記載されている書物があります³⁾。

文献

- 1) Frank MJ, et al. : Contaminated aqueous benzalkonium chloride : An unnecessary hospital injection hazard. JAMA 1976; 236: 2418-2419
- 2) Marrie T, et al. : Prolonged survival of *Serratia marcescens* in chlorhexidine. Appl Environ Microbiol 1981; 42: 1093-1102
- 3) 神谷 晃, ほか: 消毒薬の選び方と使用上の留意点. 薬業時報社, 東京, 1998, pp 140

(白石 正)